

第56期定時株主総会継続会開催ご通知

拝啓 格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第56期定時株主総会の継続会(以下、「本継続会」といいます)を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

敬 具

-
- | | |
|--------|---|
| 1.日 時 | 2026年7月30日(木曜日) 午前10時 |
| 2.場 所 | 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク ビジネスセンタービル 9F
リファレンス名古屋栄会議室 ナディアパーク
(末尾の「会場でのご出席」をご参照ください。) |
| 3.目的事項 | 報告事項 |
| | 1.第56期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告、
連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 |
| | 2.第56期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)計算書類報告の件 |
-

第52期定時株主総会にて株主様にご承認いただいた定款変更の通り、会社法改正に伴う株主総会資料の電子化に対応した開催のご案内を送付しております。
なお、2026年3月31日までに所定の手続きで株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行もしくは、お取引のある証券会社に書面交付申請を行われた株主様には、株主総会資料を発送いたします。期日後に書面請求のご依頼をいただいても、ご用意しておりませんので、発送をすることができません。予めご了承ください。書面請求制度につきましては、こちらのサイトを
ご参照ください。(<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>)

第56期定時株主総会継続会の開催について

当社は、2026年6月23日開催の第56期定時株主総会(以下、「本総会」といいます。)の目的事項のうち、以下の報告事項につきまして、本総会において株主の皆様にご報告することができませんでした。そのため、本継続会を開催し、報告をさせていただきます
たく、ご通知申し上げます。

【報告事項】

- 第56期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
- 第56期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)計算書類報告の件

1.本継続会開催の理由及び本継続会の開催について

当社の100%子会社である有限会社秋測のマーケティングセンター(長野県上田市)において、不適切な取引の疑い及び不正
行為の疑いがあることを認識し、根本原因を究明し再発防止を図るため、外部専門家、当社の社外取締役及び社外監査役から構
成される特別調査委員会を設置の上、厳格な調査を進めてまいりました。

一方で、当該委員会の調査及び監査法人による決算に係る影響の監査に時間を要することから、本総会にて上記の報告事項に
関して報告できない状況となりました。

2.本継続会の開催

当社は、決算関連手続きが完了次第、速やかに本総会の継続会を開催し、本継続会で上記報告事項の報告を行うこと、並びに
本継続会の日時及び場所の決定を取締役会にご一任願うことにつきまして、本総会において株主の皆様にご承認いただきました。

この度、一連の決算関連手続きが完了いたしましたので、本総会でのご承認に基づき、本継続会の開催をご通知申し上げます。

株主の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、当社子会社取締役による不祥事により、株主及び投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。子会社秋測における不祥事について、当社グループの代表として責任を痛感するとともに、調査報告書において指摘された発生原因及び再発防止策に関する提言等を真摯に受け止め、再発防止体制を強化・徹底し、グループ丸となって信頼回復に努めてまいります。

さて、2026 年3月期（第 56 期）は、「Development & Evolution」をスローガンに掲げた中期経営計画の2年目として、初年度（1年目）の取り組みをさらに加速させ、最終年度（3年目）に向けた地力固めを行う重要な1年としてスタートしました。当期を振り返りますと、政治・経済局面において、これまでにない新たな地殻変動や混迷が生じるなど、極めて変化の激しい事業年度となりました。

特に、対外環境におきましては、米国トランプ政権による関税政策をはじめ、戦後築き上げられてきたグローバル秩序の変容など、従来の価値観を揺るがすパラダイムシフトが急速に進んでおります。また国内市場においても、継続的なインフレ基調に伴う物価高が常態化する中、製品及びサービスへの迅速な価格転嫁が容易ではない状況が続いており、営業活動においては、柔軟かつ的確な対応が求められる極めて厳しい環境でありました。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画2年目の計画達成に向けて邁進してまいりました。その結果、主要事業において着実な成果を収めることができました。

公共セグメントは、前々期に市場投入した、主力製品を強力に支援する製品の拡販に注力するとともに、営業拠点を新設いたしました。これにより、営業網の「広さ」と「深さ」の双方を拡張することに成功し、前期を大きく上回る極めて堅調な実績を残すことができました。

モビリティ・DX セグメントは、国内における自動運転の社会実装事業に継続して取り組み、前期以上の確かな手応えとともに、実績をさらに積み上げることができました。具体的には、全国で広がる自動運転バスの実運行を支える「遠隔監視拠点」を立ち上げ、運行の安心・安全における品質と信頼性の向上に努めました。また、社会インフラに係る都市空間の DX 事業への挑戦におきましても、前期からの地道な活動が事業化へと着実に実を結び始めており、来期のさらなる成果獲得に向けて弾みをつけております。

2027 年3月期（第 57 期）は、中期経営計画3年目で最終年度であり、前期以上に不確実な社会情勢ではありますが、当社グループの杜是「知恵・実行・貢献」のもと、「AISAN ONE TEAM」で挑んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご指導とご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

加藤 淳

1. 株主総会資料のウェブサイト掲載について

当社ウェブサイトでの掲載

本継続会の株主総会資料の内容である情報(電子提供措置事項)は、電子提供措置をとっております。当社ウェブサイトの[株主総会]ページに掲載しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイトの「株主総会」ページ
<https://www.aisantec.co.jp/ir/stock/meeting/>



東京証券取引所ウェブサイトでの掲載

電子提供措置事項は、東京証券取引所(東証)のウェブサイトでも電子提供措置をとっております。以下の東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にアクセスのうえ、「銘柄名(会社名)」に「アイサンテクノロジー」または証券「コード」に「4667」(半角)を入力・検索し、[基本情報] > [縦覧書類/PR情報]の順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認くださいませ。東証ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



2. 株主総会資料の修正に関して

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://www.aisantec.co.jp/ir/>)及び東京証券取引所ウェブサイト(<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>)に修正した旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載させていただきます。

3. その他のご留意事項

- 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の第56期定時株主総会継続会出席票を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。
なお、監査役及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。
 - ① 事業報告の「主要な営業所」「主要な借入先の状況」「その他企業集団の現況に関する重要な事項」「社外役員に関する事項」「責任限定契約の内容の概要」「役員等賠償責任保険契約の内容の概要等」「会計監査人の状況」「業務の適正を確保するための体制」
 - ② 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
 - ③ 計算書類の「貸借対照表」「損益計算書」「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
 - ④ 監査報告の「連結計算書類に係る会計監査報告」「計算書類に係る会計監査報告」「監査役会の監査報告」

4. 事前質問に関して

本継続会の目的事項に関するご質問を**2026年7月24日(金曜日)**までの期間、事前に受け付けます。
事前質問は以下URLもしくは右記2次元バーコードを読み取り、入力専用ページへアクセスの上、必要事項を入力し、質問をご登録ください。
当社ウェブサイトの「株主総会」ページ
<https://www.aisantec.co.jp/ir/stock/meeting/>
(次のユーザ名、パスワードでご入室ください。
ユーザ名:aisan-holderパスワード:soukai2606)



5. 事業報告動画の事前配信に関して

本継続会当日にご来場いただかなくてもご覧いただけるよう、本継続会でご報告する事業報告動画を事前に配信いたします。
ご視聴に際しては、以下の当社ウェブサイトへアクセスのうえ、ご視聴願います。

当社ウェブサイトの「株主総会」ページ
<https://www.aisantec.co.jp/ir/stock/meeting/>



調査報告の概要
不正行為の実態、原因分析、及び再発防止策について

2026年6月19日に公表しました当社の子会社である有限会社秋測(以下、「当該子会社」)の取締役(以下、X)による不正に関する調査報告、及び当社取締役会で取り纏めた再発防止策の概要となります。

本件は、2026 年 3 月に当該子会社のマーケティングセンターにおいて、実際とは異なる商品の売上計上が発見されたことが発端となりました。これを契機に、Xによる一連の不正行為が疑われたことから、独立した専門家を交えた特別調査委員会を設置し、調査を行いました。

特別調査委員会の調査結果の概要

- I) Xは、仕入から売上・債権管理までを単独で担う属人的な地位を悪用し、特定取引先への原価割れ販売の隠蔽や、利益水増しを目的とした架空売上とその取消を繰り返した。
- II) 会社資産の測量機や簿外となった機器をネットオークションで転売し、売却代金を個人口座に着服していた。
- III) Xの不正による当社連結営業利益に対する累積の損失影響額は、合計49百万円に上る。
- IV) X単独の不正であり、当社グループ内での組織的関与は否定されている。

特別調査委員会による原因分析

- I) 少人数かつ属人化された業務フローにより内部牽制が働かず、改ざんを監査等で発見できない環境であった。
- II) Xが単独で販売管理システムの伝票が改ざん可能であるなどシステム統制に不備があり、請求書等はExcelで独自作成されていたため、当社は異常を検知できなかった。
- III) 業績による結果にこだわり、自身ならびに部門の計画達成に執着していた。
- IV) 不正シグナルが放置され、滞留債権や在庫二重計上の指摘に対する抜本対策が先送りされていた。
- V) 取引先との癒着を招きやすい取引慣行が容認される環境であった。

①当社グループとしての再発防止策

- 1) 全社戦略の見直し(事業ポートフォリオの見直し)検討
 - ・各事業における資本コスト・収益性を踏まえた継続的な精査の実施
 - ・当該子会社の属人化解消・内部統制整備を前提とした採算性の厳格な再評価及びマーケティングセンター事業の継続可否の根本的検討
 - ・グループ全体の人員体制・事業規模・事業数を踏まえた適切な事業体制の検討と必要な改善策の実施
- 2) ガバナンスの再構築
 - ・取締役会、監査役会におけるモニタリング機能を強化
 - ・全グループ会社に最高コンプライアンスオフィサーの設置
 - ・業務分掌、職務分離といった業務手続のグループ共通化の徹底
 - ・グループ会社を含む事業部門、親会社の管理部門、内部監査部門の3つのディフェンスラインの確立
 - ・内部監査部門の体制強化
- 3) コンプライアンス意識の徹底
 - ・グループ全役職員を対象に、定期的にコンプライアンス研修を実施
 - ・役員に対し、定期的に外部の有識者によるガバナンスに関する勉強会を実施
 - ・新任役員に対し、上場企業の役員として必要な知識に関する外部研修の受講を義務化

②当該子会社としての再発防止策

- 1) マーケティングセンター事業の継続可否の根本的検討と内部統制の構築・整備
- 2) 業務分掌と職務分離に関する親会社手続との共通化
- 3) システムによる在庫一元管理・棚卸統制
- 4) 親会社の管理部門と連携した組織的な債権管理体制の確立

当社は、特別調査委員会による原因分析及び再発防止策の提言を真摯に受け止め、再発防止策の着実な実行を図るため、代表取締役社長を委員長とするグループ経営モニタリング委員会を設置し、再発防止策の実施状況を継続的にモニタリングしてまいります。

詳細は、2026年6月19日に公表しました「調査委員会の調査報告書(公表版)公表及び再発防止策の策定ならびに関係者の処分にに関するお知らせ」をご覧ください。
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4667/tdnet/2837849/00.pdf>

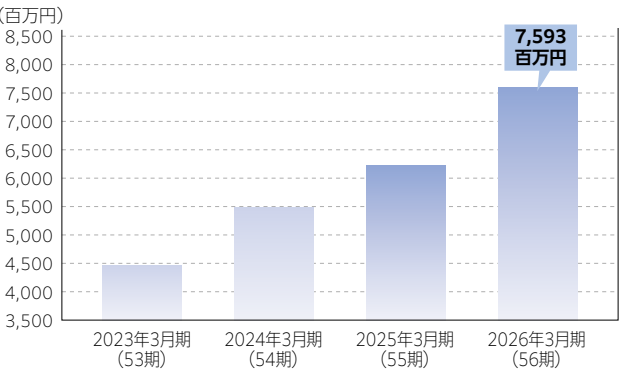


業績ハイライト



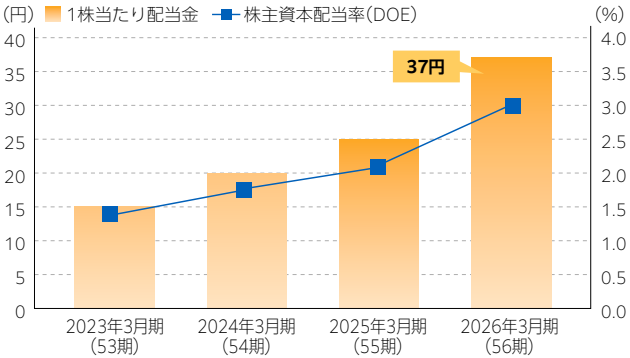
売上高

測量ルール改正、PC更新需要を捉えつつ、官公庁案件や自動運転事業が大幅伸長



1株当たり配当金・株主資本配当率(DOE)

従来より安定した配当を実施すべくDOEを基準に変更



中期経営計画について

◆中期経営計画2年目(2026年3月期)の振り返り

自社製品・計測機器の販促や展示会出展を強化し商談機会を拡大。MMS販売や高精度三次元地図作成、自動運転関連請負、測量業務など幅広く受注を獲得し、対応を進めました。業績の推移は、上記業績ハイライトをご覧ください。

【「長崎DXラボ」開設】

当社はDX推進の新拠点として長崎市に「長崎DXラボ」を開設し、2025年8月1日に開所式を開催しました。IT人材確保のしやすさや災害リスクの低さ、産学官連携への期待を背景に進出を決定。長崎県・長崎市との立地協定を経て準備を進め、開所式では今後の取り組みを説明し、関係者が新オフィスを内覧しました。

【自動運転の遠隔監視拠点「オートドライブリモートセンター」を開設】

全国で進む自動運転バスの実運行を支える遠隔監視拠点として、名古屋駅直結の大名古屋ビルヂング内に「オートドライブリモートセンター」を開設いたしました。本センターでは、複数地域での運行をリアルタイムに支援し、自動運転の社会実装を現場から後押ししていきます。

今後は、遠隔支援の仕組みを他地域にも広げ、各地の自動運転プロジェクトと連携しながら、安全かつ持続可能な運行支援モデルの確立を目指してまいります。

◆中期経営計画3年目(最終年度:2027年3月期)について

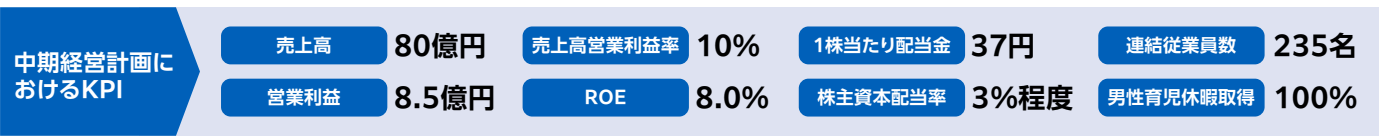
- 中期経営計画3年目(最終年度:2027年3月期)における経営計画売上高80億円、営業利益8.5億円の達成
- 初年度での計画未達分も含めた人財の確保と育成
- 次の自社製品リリースと継続的な研究開発
- 自動運転の社会実装に向けパートナーの皆様と連携し実証実験を行うとともに自動運転の社会実装・時代を見据えた事業開発
- IRイベントなど積極的に参加し、個人投資家の皆様との接点をさらに増やし、企業価値向上に努める

中期経営計画3年目(最終年度:2027年3月期)における売上高80億円、営業利益8.5億円など下記KPIの達成を目指し、新卒及びキャリア採用を含む人財確保、資産、研究開発への投資を積極的に実施してまいります。

公共セグメントにおいては、製品企画・開発の強化、製品及びサービスの迅速かつ継続的な提供を行い、グループ会社とも連携して収益に貢献してまいります。モビリティ・DXセグメントでは、新たなDX事業への参画に向けた取り組みを加速し、各分野での人財育成・研究開発の実施、自治体やパートナー企業との連携強化を通じて将来の収益性の向上を図ってまいります。

中期経営計画の詳細につきましては、当社WEBサイトをご覧ください。

<https://www.aisantec.co.jp/ir/management/vision/>



事業報告概要(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

当社グループにおける当連結会計年度の経営成績等の状況の概要

(単位:千円)

	2025 年3月期	2026 年3月期	対前期増減額	対前期増減率
売上高	6,220,625	7,593,146	1,372,521	22.1%
営業利益	449,401	760,499	311,097	69.2%
経常利益	445,048	761,186	316,138	71.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	286,207	522,016	235,808	82.4%

当社グループでは、前事業年度の第55期を初年度(1年目)としたFY2024_2026中期経営計画(Development & Evolution)を策定いたしました。本計画は、「既存事業の価値の最大化と新たな価値の創造」に取り組み、「資本コストを意識した経営の実践」をグループ全体に浸透を図ることで、持続的成長を目指すことを骨子としております。加えて、積極的な人財獲得と社員のスキルアップを並行して展開する人的資本経営の推進と、DXによる生産性向上により、当社グループ全体のアップデートを図っています。また、新たな事業領域の獲得として、三次元点群データを始めとするあらゆるデータを統合し都市運営の基盤構築を目指す、都市空間のDX化事業に挑戦しております。

当連結会計年度においては、自社製品や三次元計測機器を中心に、各種計測機器の購買動機向上に向けた取組みを継続するとともに、展示会への出展を強化した営業活動を行い、商談機会の獲得に努めてまいりました。

MMS(Mobile Mapping System)機器販売、高精度三次元地図の作成事業及び自動運転サービス実用化に向けた自動運転社会実装事業、自動運転車両の構築事業、測量業務委託など、多方面から受注を獲得しており、順次その対応を行ってきました。

当連結会計年度におけるグループ全体の業績は、売上高・各利益項目ともに計画を上回り、前年に続き過去最高を更新する大幅な増収増益で着地となりました。

また、中期経営計画3年目(最終年度:2027年3月期)の売上目標である80億円に向けて順調に推移しているほか、営業利益率(10.0%)やROE(8.2%)などの主要な経営・資本効率指標については、目標値を1年前倒しで達成しております。

その他、各事業に関するトピックスは、当社ウェブサイト「IRトピックス」をご覧ください。

<https://www.aisantec.co.jp/ir/topics/>



■2026年3月期 連結計算書類

連結貸借対照表 (2026年3月31日現在)

		(単位:千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	8,409,356	流動負債	3,197,702
現金及び預金	5,822,351	買掛金	712,467
受取手形	91,892	短期借入金	1,030,000
売掛金	1,623,257	リース債務	117,628
契約資産	400,407	未払法人税等	196,889
電子記録債権	155,123	前受金	607,344
商品及び製品	93,951	賞与引当金	223,614
仕掛品	12,446	特別調査費用等引当金	26,127
その他	209,946	その他	283,629
貸倒引当金	△21	固定負債	684,936
固定資産	2,146,611	リース債務	285,385
有形固定資産	1,069,599	退職給付に係る負債	291,205
建物及び構築物	167,767	その他	108,345
土地	448,186	負債合計	3,882,638
リース資産	389,540	純資産の部	
車両運搬具	16,963	株主資本	6,497,151
その他	47,140	資本金	1,922,515
無形固定資産	299,051	資本剰余金	2,305,078
ソフトウェア製品	226,710	利益剰余金	2,709,814
その他	72,340	自己株式	△440,256
投資その他の資産	777,960	その他の包括利益累計額	17,497
投資有価証券	453,446	その他有価証券評価差額金	17,497
繰延税金資産	208,776	非支配株主持分	158,679
その他	120,003	純資産合計	6,673,329
資産合計	10,555,967	負債純資産合計	10,555,967

連結損益計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		7,593,146
売上原価		4,665,401
売上総利益		2,937,745
販売費及び一般管理費		2,177,246
営業利益		760,499
営業外収益		
受取利息	8,725	
受取配当金	926	
受取解決金	4,165	
その他	1,240	15,057
営業外費用		
支払利息	14,221	
その他	148	14,369
経常利益		761,186
特別利益		
固定資産売却益	4,207	
投資有価証券売却益	31,932	36,139
特別損失		
固定資産除売却損	896	
特別調査費用等引当金繰入額	26,127	27,023
税金等調整前当期純利益		770,302
法人税、住民税及び事業税	250,998	
法人税等調整額	△36,220	214,777
当期純利益		555,524
非支配株主に帰属する当期純利益		33,508
親会社株主に帰属する当期純利益		522,016

■2027年3月期業績見通し

- 「中期経営計画(2024年度～2026年度) Development & Evolution」の3年目として定量的な目標達成に取り組んでまいります。
- その中期経営計画の基本方針は、以下の通りです。
- ① 持続的成長の基礎となる製品・ソリューションの開発力強化
 - ② 持続的成長を支える人財の獲得とその育成・スキルアップを図る
 - ③ 持続的成長を実現する「科学的」営業活動の実践
 - ④ チャレンジ事業に経営資源を集中とともにグループ全体でのシナジーの創出
 - ⑤ 資本コストを意識した経営の実践による企業価値向上を実現する

この基本方針を達成するにあたり、当連結会計年度においては、前連結会計年度に採用した人財の教育・育成を着実に進め、早期の戦力化及び収益貢献の実現に取り組んでまいりました。その結果、当該人財の事業活動への参画が進展し、前連結会計年度に実施した人財投資について一定の成果創出と回収が図られました。中期経営計画最終年度(3年目)に向けて、引き続き人財基盤の強化を図るとともに、成長に向けた各施策を推進してまいります。

一方で、事業活動における次期の市場環境の見通しは、米中対立や中東情勢の緊迫化を背景に、世界は分断と不透明感の中にあります。資源や半導体を巡る経済安保に加え、先端技術の主導権争いや気候変動への対応が急務となる中、国際秩序の再編が加速するとともに、当社が取り扱う測量計測機器、MMS など納期や価格高騰などにより事業活動への影響も想定しています。

- 以上より、2027年3月期における連結業績予想は以下の通りであります。なお、次の2点の要因により、第2四半期累計期間までは、営業利益を始め各利益項目は損失計上を計画しております。
- 1. 当社グループにおけるモビリティ・DXセグメントを中心に、自動運転の社会実装事業等の収益比重が年々高まってきていることに加え、子会社のスリード、三和、A-Driveにおいても請負業務を中心としており、収益計上が年度末に集中する傾向にあることから、第2四半期まで営業損失を計画している点。
 - 2. 公共セグメントにおける当社事業は、四半期単位で営業利益を計上する計画ですが、この分野も採用計画の増加や投資によるコストが事業年度の上半期に集中しており、それらの収益貢献が下半期以降であることから、上記1.の営業損失を吸収するまでは至らない計画である点。

アイサンテクノロジーグループ当期の連結実績及び次期の業績予想

(単位:千円)

	2026年3月期(実績)	2027年3月期(計画)	対前期増減額	対前期増減率
売上高	7,593,146	8,000,000	406,854	5.3%
営業利益	760,499	850,000	89,501	11.7%
経常利益	761,186	830,000	68,814	9.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	522,016	547,000	24,984	4.7%

定時株主総会継続会当日のご案内

本継続会のライブ配信のご視聴

将来の出席型バーチャル総会も見据えて本継続会をライブ配信し、後日オンデマンド配信を行います。ライブ配信をご視聴いただくには以下の手続きで事前登録が必要となります。

STEP1

当社ウェブサイトの「ライブ配信申込」ページへアクセスし、下記ご注意事項に同意いただいたうえで、必要事項を入力の上、**2026年7月24日(金曜日)**までに登録を完了してください。

<https://agm.aisan-hub.com/56entry-adjourned.html> (申込時のパスワード:soukai2606)



STEP2

当社よりご視聴用のURLをご登録いただきましたメールアドレスに通知しますので、本継続会当日の9時30分以降にアクセスし、ライブ配信をご視聴ください。

(ご注意事項)

- 本ライブ配信でのご参加は会社法上、本継続会の視聴のみのハイブリッド参加型バーチャル株主総会となります。そのため、**動議提出、動議採決及び当日の質問は行うことはできません**。質問は事前質問をご利用ください。
- ネットワーク環境の制限により視聴者数の定員を設けております。お申し込みが定員を超えた場合は、抽選を実施させていただきます。抽選結果はご登録のメールアドレスへご連絡いたします。
- ライブ配信の撮影、録画、録音、配信、SNSでの投稿等をご遠慮ください。
- ライブ配信につきましては万全を期しておりますが、**当日の通信環境の状況悪化やシステム障害等の不測の事態によりご視聴できない場合**があるほか、状況によっては中止する場合があります。
- ご使用の機器やネットワーク環境によってはご視聴いただけない場合があります。Zoomのご利用で不具合が発生された際は「Zoomヘルプセンター」にて動作環境のご確認をお願いいたします。
Zoomヘルプセンター(<https://support.zoom.us/hc/ja>)
- ライブ配信のご視聴やお申し込みの際に発生する通信料金等は、株主様のご負担となります。
- ライブ配信中にコメント入力はできません。
- ご視聴の株主様の映像・音声は配信されません。
- ご視聴環境等のお問い合わせには対応できませんので、ご了承ください。

オンデマンド配信について

本継続会のライブ配信の内容は、株主様に限定せず、後日オンデマンドで配信いたします。本継続会後準備ができ次第、当社ウェブサイト「株主総会」ページにてご案内いたします。

当社ウェブサイトの「株主総会」ページ <https://www.aisantec.co.jp/ir/stock/meeting/>

会場でのご出席

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の第56期定時株主総会継続会出席票を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。



会場

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク ビジネスセンタービル 9F
リファレンス名古屋栄貸会議室 ナディアパーク
TEL (052)684-6091

— 交通機関のご案内 —

- 地下鉄東山線「栄」駅 「S7a」「S7b」もしくは「S8」出口より 南へ徒歩7分
 - 地下鉄名城線「矢場町」駅 「6番」出口より 西へ徒歩5分
- <お願い>会場には専用駐車場の用意がございませんのでご了承ください。

ご来場にあたってのお願い事項

- ・会場出席は株主様のみに限らせていただきます。
- ・継続会ライブ配信及びオンデマンド配信に際し、会場内での撮影を行います。株主様の容姿が撮影されないよう配慮しますが、当日運営の都合等により撮影されてしまう可能性がありますので、ご了承ください。
- ・質問や動議など、会場にて発言をされる場合には、株主様の声が配信されますので、ご了承ください。

